

平成14年9月30日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報(気象編)第112号

～GPVの修正等について～

ファイル転送で提供している全球数値予報モデル(GSM)のGPVパラメータ部分の一部と、領域数値予報モデル(RSM)、メソ数値予報モデル(MSM)のGPVを修正します。

1 概要

- (1) GSMのGPV「地表気圧」パラメータ指示符の誤りを修正する。【別紙1】
- (2) RSM、MSMのGPVについて、雲量データの1時間の時刻ずれを修正する。【別紙2】

2 実施時期

平成14年10月8日00UTC 初期値より

GSM の格子点資料「地表気圧」パラメータ指示符の誤り修正

ファイル転送で提供しているGSM格子点値(Thinned Grid、GRIB形式)の「地表気圧」パラメータ指示符(*)の設定に誤りがあったので、修正する。

(*)FM92 GRIB 通報式の第2節プロダクト定義節の第9オクテット

1. 修正内容

関連パラメータと共に下表に示す。(表中、**ゴシック太字**が修正点)

	地上気圧 (Ps)		海面更正気圧 (Psea)
	現状設定値(誤)	修正後設定値(正)	現状設定値(正)
第9オクテット (要素指示符)	2 (海面更正気圧)	1 (気圧)	2 (海面更正気圧)
第10オクテット (層の指示符、現状で正しいが参考のため)	1 (地表面)	1 (地表面)	102 (平均海面)

なお、現状のデータも、第10オクテット(層の指示符)により、海面更正気圧と地上気圧は区別可能である。

2. 変更の対象となるGPV資料(ファイル名)

GSM00X024 GSM12X024
 GSM00X048 GSM12X048
 GSM00X084 GSM12X084
 GSM12X180
 GSM12X192

RSM、MSMの格子点値の雲量データの不具合修正

1. 変更内容

RSM、MSM のモデル面各層の雲量データが、全て1時間古い値となっていたため、これから作成する各種プロダクトについても古い値を利用していた。これらを正しいデータ時刻のデータに修正する。

例) FT=01には FT=00、FT=02には FT=01の値、但し、FT=00は FT=00の値

2. 修正するプロダクト

(1)RSM 及び MSM の GPV

- ・RSM 地上、RSM 航空広域、MSM 地上の各格子点電文
地上予報値:下層雲量、中層雲量、上層雲量
- ・RSM、MSM 地上予報値のファイル
地上予報値:下層雲量、中層雲量、上層雲量
- ・MSM 航空悪天の格子点電文:中層雲量、下層雲量

(2)関連して修正される GPV の応用プロダクト.

- ・最高・最低気温ガイダンス
*9時間平均雲量を使用しているため影響は小さい
- ・国内悪天予報図 FAX(4面図のうち、雲インデックスを表わす1面)

(3)対象電文ヘッダー等

(電文)

MSM 地上格子点資料	VVM@ii (@ : C~T)
MSM 航空悪天格子点資料	VKMS40 (中層雲、下層雲)
RSM 地上格子点資料	VVR@ii (@ : C~T)
RSM 航空広域 A'格子点資料	VKRA40
RSM 航空広域 B'格子点資料	VKRB40
最高・最低気温ガイダンス	KQYYii

(ファイル転送)

MSM 予報値(地上)	MSMxxSFC018_2 (xx=00,06,12,18)
RSM 予報値(地上)	RSMxxSFC024、RSMxxSFC051 (xx=00,12)

(FAX)

国内悪天12時間予想図	FBJP412(4面図のうち、雲インデックスを表わす1面)
-------------	-------------------------------